



2022年度 大学コンソーシアム京都SDゼミナール募集要項

2022年3月

公益財団法人 大学コンソーシアム京都

1. はじめに

18歳人口のさらなる減少や人生100年時代の到来、第4次産業革命の高度化による Society5.0、グローバル化の進行など、大学を取り巻く環境は激しく変化しています。大学職員には、次代を見据えた的確な舵取り能力と、環境の変化や社会のニーズを正確に分析し、それを組織における意思決定に反映させ、社会的使命である教育・研究・社会貢献を実現に導く能力が求められます。

本SDゼミナールは、若手・中堅職員を主たるターゲットとし、それぞれの大学の次代を担う人材育成を行うことを目的としています。国公立大学・短期大学から年代の近い人材が集い、数カ月間の長期間に渡って切磋琢磨し合い、強い相互作用が発生する「越境学習」の場であることが、単独大学で行うSDプログラムとの決定的な違いです。また、公開プレゼンテーションや修了時のレポートがあり、「やりっぱなし」「聞きっぱなし」にせず、しっかりと政策提言（職場への業務改善提案、新規業務提案など）としてまとめあげること、またそのためのいくつかの支援の仕組みがあることが、他の類似プログラムと異なる点です。

修了生からは、「生涯繋がれる他大学職員とのネットワークができた」「高等教育の基礎知識を改めて学び直せた」「情報を収集し、まとめ、事実と論理に基づいて提言できるようになった」「高等教育全般に興味が増え、各種答申や業界紙を読むようになった」など、具体的な成果や行動の変容に関する感想が寄せられています。

わずか数ヶ月、されど数ヶ月です。自己を研鑽し、力をつけ、たった一度の大学職員人生を、より豊かにするためのステップとして、チャレンジいただければ幸いです。

2. SDゼミナールの特徴

SDゼミナールでは、全9回の講義受講、公開プレゼンテーションでの発表、政策提言（職場への業務改善提案、新規業務提案など）を行うレポート（以下、政策提言レポート）の執筆を行います。また、成長度を測るため、受講前と受講後にPROGテスト※を受験していただきます。本ゼミナールの主たる特徴は、以下の3点です。

- ① 一流講師陣による幅広い領域の学習が集中的にでき、知識が獲得できること
- ② 研修内外に提供される豊富な機会（毎回のグループワーク実施、修了翌年のフォローアップ研修など）によって着実に人的ネットワークができること
- ③ 公開プレゼンテーション、政策提言レポートの作成のプロセスで、アカデミック・リテラシーが培われること

※PROGテストについて

学校法人河合塾と株式会社リアセックが共同開発した、ジェネリックスキルの成長を支援するアセスメントプログラムです。専攻・専門に関わらず、社会で求められる汎用的な能力・態度・志向=ジェネリックスキルを測定・育成します。

SDゼミナール受講前と受講後の定められた期間内で、ご自宅等よりWEBにて受験していただきます。なお、受験料はSDゼミナール受講料に含まれています。

また、11月下旬には、株式会社リアセックの担当者による解説会を予定しています。解説会は、Zoomミーティングにて実施いたします。開催日時は、受講生に希望を確認したのち、決定いたします。

3. 研修の到達目標

SDゼミナールは、以下の到達目標を掲げています。

①【基礎知識】

大学職員として必要な基礎知識（高等教育情勢や関連する法令・制度、学生動向、大学と社会の関係等）を得る。

②【人的ネットワーク】

他大学の職員と共に学び、切磋琢磨する中で、大学の枠を越えた人的ネットワークを形成する。

③【自律的学習力】

職業人として自律的に学習・考察する態度を身につける。

④【ロジカルシンキング】

課題を発見し、論理的に思考することができる。

⑤【リサーチスキル】

情報収集・分析を行うことができる。

4. 実施概要

開催日：2022年5月21日（土）・28日（土）

2022年6月4日（土）・11日（土）・18日（土）・25日（土）

2022年7月2日（土）・9日（土）・16日（土）・23日（土）

2022年9月10日（土）・17日（土）

会場：5月21日（土）、9月17日（土）：キャンパスプラザ京都※

上記以外：オンライン（Zoom ミーティングおよびoViceを使用）

※ただし、開催日に緊急事態宣言またはまん延防止等重点措置が京都府に発出された場合、オンライン開催に変更いたします。

5. 募集人数

15名（大学コンソーシアム京都加盟校優先）

6. 参加条件

SDゼミナール開始の時点で、原則、大学職員としての職務経験が3年以上の者。

7. 研修概要

研 修 概 要

【オリエンテーション】5月21日（土）15：30-17：00 <対面開催>

- ・SDゼミナールの受講について（事務連絡）
- ・SDゼミナールの受講の心構え（修了生からのメッセージ）

【第1回】5月28日（土）13：00-14：40 <オンライン開催>

アカデミック・ライティングの基礎 — 「問題意識」を具体的な「問い」に変換する方法とは？—

講師：坂本 尚志 氏（京都薬科大学 一般教育分野 准教授）

<講義方法について>

本講義は、オンデマンド型講義となります。

当日は、講義動画を視聴いただき、グループワークを実施いたします。後日、講師からのグループワークへフィードバックを自宅等で視聴いただきます。質問、コメント等には、講師が個別対応いたします。

<講義の目的・到達目標>

この講義では、レポートに代表されるアカデミックな文章の書き方の基礎を、「問い」の立て方、扱い方に焦点を当てて学びます。

講義やグループワークによって、「問い」に基づいた一貫した議論の流れを作れるようになること、そして、業務の中でのこうした方法の応用可能性を、討論を通じて発見することを目的とします。

研 修 概 要

【第2回】6月4日(土) 13:00-16:10 <オンライン開催>

大学の歴史と制度 —未来を創るために高等教育の歴史と制度を理解する—

講師：宮林 常崇 氏（東京都公立大学法人 東京都立産業技術大学院大学管理課長）

<講義の目的・到達目標>

本講義の目的は、第3回以降の講義を理解するために必要な基礎的知識・理解を身につけることです。

具体的な到達目標は次のとおりです。

- 1) 高等教育に関する歴史や制度のうち、大学運営の中核を担う職員が身につけておくべき知識を理解し、大学業務へ活用できる。
- 2) 大学運営に役立つフレームワークを修得し、学びで得た知識・理解や人脈を職場で活かすことができる。
- 3) 大学職員が学ぶことの意義の再確認し、今後も学び続けることができる。

【第3回】6月11日(土) 13:00-16:10 <オンライン開催>

アカデミック・リテラシーと政策提言レポート

—アカデミック・リテラシーを理解し、リサーチを開始する—

講師：村山 孝道 氏（京都文教中学校・高等学校 事務長）

<講義の目的>

9月の公開プレゼンテーション、10月の政策提言レポート期日はあつという間にやってきます。本講義では、これらの概要、レベル感、ゴールまでのプロセスを共有した上で、成果物を生み出すための具体的な第一歩を踏み出していただきます。SD ゼミナールの特徴の一つであるアカデミック・リテラシーについて理解を深めた上で、受講者それぞれの研究テーマやリサーチクエストンについて、相互に磨き合います。

<到達目標>

- ・公開プレゼンテーション、政策提言レポートの概要とレベル感を説明出来る。
- ・自身の研究テーマ及びリサーチクエストンについて説明出来る。
- ・アカデミック・リテラシーの意味や意義、業務との関係を説明出来る。

【第4回】6月18日(土) 13:00-16:10 <オンライン開催>

大学と社会 —産官学連携の概要と大学が果たす役割について—

講師：南 了太 氏（京都精華大学 国際文化学部 グローバルスタディーズ学科 准教授/
共通教育機構 社会実践力育成プログラム部門長）

<講義の目的・到達目標>

講義の目的：本講義では、産官学連携の現状や歴史、政策、事例などを俯瞰し、受講者に連携事業全般について関心をもってもらうことを目的とします。

到達目標：①産官学連携の動向や課題について知る（知識）、②自身の大学の資源を調べ、ステークホルダーに対し企画・提案する（提案力）

【第5回】6月25日(土) 13:00-16:10 <オンライン開催>

大学の戦略とリーダーシップ —戦略を創出する組織づくり—

講師：吉武 博通 氏（情報・システム研究機構監事/東京家政学院理事長/筑波大学名誉教授）

<講義の目的・到達目標>

日本経済の長期にわたる停滞、予想を上回る速さで進む18歳人口の減少に加え、コロナ禍や不安定化する国際情勢など、大学を取り巻く環境は一層厳しさを増しつつある。その中であって、大学は如何なる役割を果たすべきか、自校が社会的存在価値を高めつつ、存続・発展していくために何が必要かについて、「戦略」と「組織」を切り口に検討するとともに、「戦略を創出する組織」の担い手としての大学スタッフに期待される役割について共に考えてみたい。

【第6回】7月2日(土) 13:00-16:10 <オンライン開催>

大学と高大連携・高大接続 —「高大接続改革」のめざすものを問う—

講師：荒瀬 克己 氏（独立行政法人教職員支援機構 理事長）

<講義の目的・到達目標>

学生にとって大学での学びが豊かなものになるよう、社会への移行を視野に入れて、大学の役割について考察する。その手がかりとして、2021年1月の中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」等を参考に、本年4月からの、高等学校における新学習指導要領による教育活動について理解を深める。

研 修 概 要

【第7回】7月9日（土）13:00-16:10 <オンライン開催>

大学教育の質保証に向けた教学マネジメント

—自校の教学マネジメントを推進していくための討議と助言—

講師：西野 毅朗 氏（京都橘大学 教育開発・学習支援室／経営学部 経営学科 専任講師）

<講義の目的・到達目標>

1. 教学マネジメントに関わる基礎知識を習得する。
2. 自校の教学マネジメントの状況を、他大学と比較しつつ把握する。
3. 自校の教学マネジメントを今後推進していくための課題と解決策を立案する。

【第8回】7月16日（土）13:00-16:10 <オンライン開催>

大学と高等教育政策 —高等教育政策の側から大学を見ると—

講師：松坂 浩史 氏（独立行政法人日本スポーツ振興センター 理事）

<講義の目的・到達目標>

新型コロナウイルス感染症など大学を取り巻く環境が大きく変化する中で、様々な大学改革を進めるための高等教育政策が推進されている。とりわけ私学のガバナンスに関する改革の動きが急となっている。大学側からは見えにくい高等教育政策の背景について考えてみるとともに、私学ガバナンス改革の最新状況を解説する。

今後、大学職員として働く中で、高等教育政策の基礎知識を知るとともに、政策を「見る目」を養うことを目的とする。

【第9回】7月23日（土）13:00-16:10 <オンライン開催>

ブランディング・学生募集 —大学ブランディングの進め方—

講師：上條 憲二 氏（愛知東邦大学 経営学部 地域ビジネス学科 教授）

<講義の目的>

- ① ブランド、ブランディングの概念を理解する。
- ② ブランディングの具体的な進め方を理解する。

<到達目標>

- ③ 実際に自分たちの大学組織のブランドコンセプト(ブランドステートメント)の仮説を考えることにより、ブランディングの方向性、可能性を認識する。

【公開プレゼンテーション】9月10日（土）13:00-18:00 <オンライン開催>

※ 受講者数によって、終了時間は異なります。

各受講者の政策提言について、公開プレゼンテーションを行います。

政策提言レポート完成前のブラッシュアップの機会とし、進捗状況を発表していただきます。

SDゼミナール修了生や関係者等が聴講する予定です。

【公開プレゼンテーションフォロー研修】9月17日（土）13:45-17:00 <対面開催>

講師：村山 孝道 氏（京都文教中学校・高等学校 事務長）

公開プレゼンテーションを受けて、各自の政策提言を完成に向けて検証します。

グループワーク形式で、自己検証だけでなく、他者の検証も行います。

また、講師からの事後研修を併せて予定しています。

【フォローアップ研修】2023年6月（開催日・開催形式未定）

※上記、研修概要については予定であり、変更となる場合がございます。

※第1回～第9回講義について

- ・講義は、Zoom ミーティングにて実施いたしますが、一部講義では、グループワークで oVice（オンラインコミュニケーションツール）を使用することがあります。
- ・また、各講義終了後は、oVice に移動し、講義の振り返りや、講師と参加者間および参加者同士で自由に交流いただく場を設けます。

8. SD ゼミナール受講にあたって

受講後、以下3点を所定の期日までに提出していただきます。具体的な個人の研究テーマを持って、講義や演習に臨んでください。提出期日や内容については、オリエンテーションにおいてご説明いたします。

- ① 中間報告書
- ② 公開プレゼンテーション資料
- ③ 政策提言レポート

※ 毎回講義終了後に、アンケートにお答えいただきます。

※ 研究テーマにつきましては、本研修プログラムの活用による成果をより具体的なものとするために、可能な限り、上長の合意を得て設定していただきますようご協力をお願いいたします。

9. 修了要件について

原則として、下記の全ての条件を満たした受講生に「修了証」を授与します。

<修了要件>

- ① 公開プレゼンテーション・公開プレゼンテーションフォロー研修を含む全11回の研修のうち、8回以上の出席

※ 欠席された場合、講義の録画データをご覧いただき、レポートにまとめていただきます。

- ② 政策提言レポートの提出

執筆要領：形式 Microsoft Word (A4版) 横書き 40字×30行設定

分量 6ページ以上10ページ以内(図表・参考文献等を含む)

※ 事前に申し出があった場合に限り、10ページ以上可

一次提出締切日：10月3日(月) ※2週間以内にアドバイスを送りいたします。

最終提出締切日：11月7日(月)

執筆要領等の詳細な内容については、オリエンテーションおよび受講期間中にご案内します。

政策提言レポートは、報告集としてとりまとめ、「SD ゼミナールレポート集」を発行いたします(12月発行)。

10. フォローアップ研修について

SD ゼミナール受講後の翌年(2023年6月予定)に、修了生全員を対象としたフォローアップ研修を実施いたします。SD ゼミナールを受講し、その後業務にどのように活かされているのか、可視化・言語化を行い、お互いの変化や成長・達成を、皆さんと振り返ることを目的としています。日程については、決まり次第ご案内いたします。

また、修了後もフォローアップの機会を設けております(例：SD ゼミナール、SD 共同研修プログラム、ポスターセッションの発表、教まちや News のスタッフレポート執筆等)。随時お知らせいたしますので、積極的にご活用ください。

11. シラバスおよび教材について

受講生には、受講決定通知と同時に、シラバス(教材・参考文献リストを含む)を配布します。また、初回講義時のオリエンテーションにおいて、具体的な研修プログラムについて説明いたします。

12. 受講申込み方法について

下記の手順に沿ってお申込みください。

	機関申込	個人申込
【STEP 1】 お申込み	「受講申込書」に必要事項を記入のうえ、所属の大学等を通じてメール添付にてお申込みください。 ※ 同一大学より複数名の応募がある場合は、「優先順位表」に優先順位順に申込者名を記入のうえ、「受講申込書」と一緒にお申込みください。 注意：各大学等での取りまとめにあたっては、下記の申込締切日に間に合うよう、学内集約期日の設定をお願いいたします。	「受講申込書」に必要事項を記入のうえ、メール添付にてお申込みください。 注意：申込に際して、所属大学が機関申込を採用していないか、事前にご確認ください。
	下記のホームページより、「受講申込書」および「優先順位表」フォームをダウンロードのうえ、メール添付にてお申込みください。 ※ 個人申込の方は「優先順位表」は不要です。 【2022年度SDゼミナールホームページ】 https://www.consortium.or.jp/project/sd/administrator	
	申込先：sd■consortium.or.jp（■を@に変えてお送りください。） メール送信時の件名：【SDゼミナール申込】（所属・氏名等）	
	申込締切日：2022年4月28日（木）	
【STEP 2】 選考	受講申込書に基づき、書類選考を行います。	
【STEP 3】 受講可否のお知らせ	5月中旬頃に、所属大学等を通じて本人宛にメール通知いたします。	5月中旬頃に、本人宛にメール通知いたします。
【STEP 4】 関係書類送付	受講の許可通知後、下記の関係書類をお送りいたします。 ・受講のご案内 ・受講料の請求書 ・シラバス	
【STEP 5】 受講料のお支払い	所定の期日までに、当財団の指定口座にお振込みいただきます。	

13. 受講料について

大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学の方 20,000円

上記以外の方 60,000円

※ 一度納入された受講料は、返金等には応じられませんので、予めご了承ください。

14. お問い合わせ先

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 教育開発事業部（SD事業担当）

所在地：〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都

TEL：075（353）9163 FAX：075（353）9101

e-mail：sd@consortium.or.jp

以上